

有害性評価書

No. 46（有害性）

アルファ、アルファージクロロトルエン (α , α -Dichlorotoluene)

目 次

本文	1
別添 1 有害性総合評価表	3
別添 2 有害性評価書	5

2010 年 6 月

厚生労働省

化学物質のリスク評価検討会

1 物理的性状等

(1) 化学物質の基本情報

名称： α,α -ジクロロトルエン

別名：塩化ベンザル、塩化ベンジリデン、ジクロロメチルベンゼン、ベンジリデンジクロリド

化学式： $C_7H_6Cl_2$

分子量：161.03

CAS 番号：98-87-3

労働安全衛生法施行令別表 9 (名称を通知すべき有害物) 第 35 号

(2) 物理化学情報

1) 物理的・化学的性状

外観：刺激臭のある無色の液体	発火点：525 °C
比重（水=1）：1.26	爆発限界（空气中）：1.1－11 vol%、
沸点：205 °C	溶解性（水）：溶けない
蒸気圧：0.13 kPa（35.4°C）	オクタノール/水分配係数（log Pow）：3.22
融点：-17 °C	換算係数：1ppm＝ 6.59 mg/m ³ （25 °C） 1mg/m ³ ＝ 0.15 ppm（25°C）
引火点（C.C.）：93 °C	

2) 物理的・化学的危険性

ア 火災危険性：可燃性。火災時に刺激性もしくは有毒なヒュームやガスを放出する。

イ 爆発危険性：報告なし

ウ 物理的危険性：報告なし

エ 化学的危険性：燃焼、酸や水への接触により分解し、有毒なヒューム（塩化水素など）を生じる。強力な酸化剤と反応する。

(3) 生産・輸入量／使用量／用途

生産量：報告なし

輸入量：報告なし

用途：工業用中間体

製造業者：報告なし

2 有害性評価（詳細を別添 1 及び別添 2 に添付）

(1) 発がん性

○発がん性：ヒトに対しておそらく発がん性がある

根拠：IARC:2A、日本産業衛生学会：2A

○閾値の有無の判断：不明

根拠：真核生物の細胞や動物を用いた遺伝毒性実験が報告されていない。

(2) 発がん性以外の有害性

○急性毒性：吸入毒性：LC₅₀ = 400 mg/m³ 2h (60 ppm 2h) (ラット)

210 mg/m³ 2h (31.5 ppm 2h) (マウス)

経口毒性：LD₅₀ = 1400 - 3249 mg/kg bw (ラット)

1400 - 2462 mg/kg bw (マウス)

○皮膚腐食性／刺激性：あり

○皮膚感作性：報告なし

○生殖毒性：報告なし

○反復投与毒性(生殖・発生毒性／遺伝毒性／発がん性は除く)：体重増加抑制(吸入ばく露：ラット)

(3) 許容濃度等

○ACGIH：設定されていない

○日本産業衛生学会：設定されていない

(4) 評価値

○一次評価値：評価値なし

発がん性の閾値の有無が不明な場合であり、定量的なリスクの判定ができないことから、一次評価値なし。

○二次評価値：(検討中)